

番号	22	東山溜池記念碑		
所在地	唐津市宇木上 東山溜池			
災害別	昭和16年(1941)水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和51年4月	
特記事項				



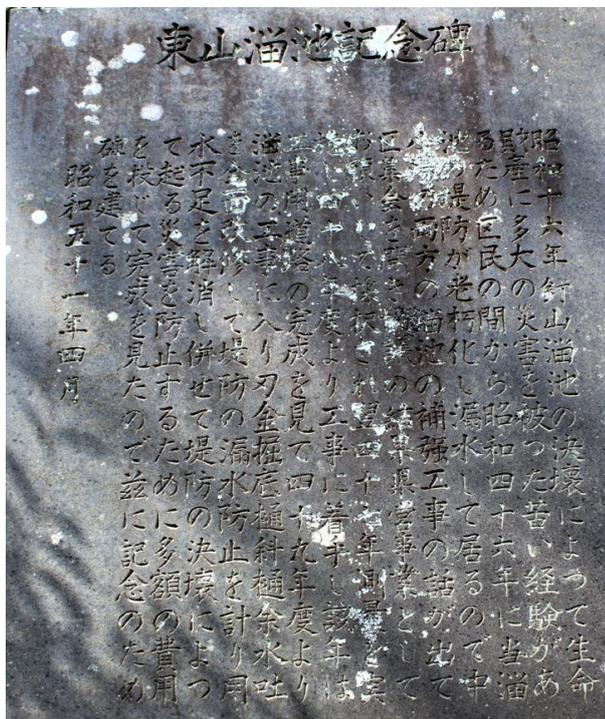
唐津市宇木上の三方山林道に隣接した東山溜池の改修工事竣工を記念した碑。碑には、昭和16年に起きた釘山溜池決壊について記されている。宇木地区では、急傾斜の山が背後に控え、過去幾度も水害や土砂崩れによる被害を受けている。

昭和16年の釘山溜池決壊について、「まつらの里かがみん話」(鏡地区郷土資料保存会2010,10,16発行 P20~21)によれば、「犠牲者が出たのが、1941年(昭和16年)6月28日の釘山溜崩れです。午後八時ごろ、宇木上の上部にあった釘山溜池の側面の山が崩れ、土石流と溜池の水に当日の大雨という三つの要素が重なって大きな被害が出ました。土石流は約2キロ下まで、広い所は7、80mの幅で流れ、当時は釘山の山津波といわれました。共同風呂から上がったばかりの女性が濁流に吞まれて死亡、流されながらも自力で助かった人三人、家屋の流出6戸で多くの棚田や畑が崩壊し、宇木川に架かる橋の内、道園橋より上の橋は全部流されました。」と記されている。なお、釘山溜池は現在残っていない。また、東山溜池が築造された年代は資料が見当たらず不明。

碑文には、「昭和十六年釘山溜池の決壊によって生命財産に多大の被害を被った苦い経験があるため区民の間から昭和四十六年に当溜池の堤防が老朽化し漏水して居るので中小場の両方の溜池の補強工事の話が出て区集会を開き協議の結果県営事業としてお願いして採

択され翌四十七年度測量を実施し四十八年度より工事に着手し該年は工事用道路の完成を見て四十九年度より溜池の工事に入り刃金堀底樋斜樋余水吐を全面改修して堤防の漏水防止を計り用水不足を解消し併せて堤防の決壊によつて起こる被害を防止するために多額の費用を投じて完成を見たので茲に記念のため碑を建てる 昭和五十一年四月

(左面)「測量 昭和四十七年十月 起工 昭和四十八年十月」 (右面)「竣工 昭和五十一年四月吉日」(裏面)「総事業費 四〇、二四八、〇〇〇円 上溜下溜両方分 内訳 国庫補助 二〇、一二四、〇〇〇円 県費補助 一二、七四四、〇〇〇円 市補助 四、八二九、七六〇円 地元負担金 三、二一九、八四〇円 設計監理 唐津農林事務所 工事請負者 (以下略)」と記されている。



国土地理院電子国土 Web